

## 令和3年度第1回 熊本市地域包括支援センター運営協議会会議要旨

- 1 日時 令和3年10月1日(金)
- 2 場所 市役所10階会議室及びTeams(チームズ)によるオンライン会議
- 3 出席委員 東和子、石川光男、石橋敏郎、岩下秀幸、大道友美、川口辰彦、田口慶治、田中弥興、本庄弘次、松川あゆみ、柳田裕子(敬称略)
- 4 議事 地域包括支援センターの運営状況及び評価について
- 5 その他
  - ・(報告)令和3年度 地域包括支援センターの重点的取組
  - ・(報告)地域包括支援センターの新型コロナウイルス感染症への対応状況
- 6 議事記録等(要旨)

### 議事

<地域包括支援センターの運営状況及び評価について事務局から報告>

### 質疑応答

#### ○委員

ぜひお聞きしたいことは、やはり今1番問題になっているコロナの問題です。コロナで、運営出来ていない事業が今の内容をみている限りでは、結構多いと思う。各事業部門によって対応が違うと思うんですが、誰がリードして、いつから復活してやるのか、あるいは形を変えていって今後のコロナ対策が続いていくのかということ、どこかで話し合わないといけないと思うんですが、やはりそういう協議の場というのは今現在あるのかどうか、私自身知らないのですが、よければ教えていただきたい。

#### ○会長

これから地域包括も含めて、どうやっていくかっていうことで、どこで協議しているか。今はコロナをとにかく防止し、感染者も少なくする、負担を軽減するという、そのためだけの会議は、皆さんもニュースでご覧になっていると思うんですね。そのあとそれぞれの福祉の業務の在り方など、今後どうしていくかという、会議をあんまりまだ、私は聞いたことないが、何か事務局から説明があればどうぞ。

#### ○事務局

課題認識というものは持っているが具体的に、それを踏まえてどうしていくかということのみをもつての会議は、やっておりません。ただ、地域包括支援センター連絡協議会であったりとか、そういったところでいろんなアンケートをとらせていただいてそれをもとに、我々も、それに対応していくというようなことはやっておりますが、具体的に何かをやったというところはまだでございます。

### ○委員

ありがとうございます。ぜひ、そういう形をやっていただきたいんですが、やはり、どこでそういう対策が動いてるかっていうのは分からないとみんな不安だと思うんですね。もしこの協議会においてアンケートの結果をこういうふうにまとめたとか、あるいはその結果こういうふうにしようと思ってるっていうことがあったら情報として定期的に発信していただくようなシステムを作っていただくとありがたいかと思います。

地域包括宛でも、よろしいと思いますので、こういうふうな話は今後こういうふうに行っていくということを、ちゃんとやられていると思うんですが、コロナに関して特化したものをもうちょっと具体的に見えるとありがたいなと思います。

現場では、やはり、事業者によっては、もう担当者会議も来れないというところもあれば、あるいはもう積極的に始めているところもあって非常に温度差があるように思います。これは恐らく情報共有ができていないせいではないかと思っていますので、そういう点を申し上げました。以上でございます。

### ○会長

はい、ありがとうございます。恐らく、ウィズコロナだから、しばらくですね、用心をしながらやっていかななくてはならない。だからそういう経験を踏まえて、これからどういう仕組みをつくっていくかとか、どういうやり方がいいかとかいう検討する場を、ぜひ設けていただきたいと私もそう思っております。よろしく願い申し上げます。

この資料は皆さん方は毎年見ておられて、大体様子はわかっておられるかと思うんですね。今年はコロナの影響で、やっぱり研修とか訪問活動はどうしても自粛傾向になってますので、去年と同じにこの点は配慮いただいて、点数もちょっと少なくなっていると思うんですね。そういう理由だということでご理解いただきたいと思います。これよろしいですか。

### ○委員

介護支援専門員協会から来ております岩下です。よろしく申し上げます。評価の5番のところですね、ケアマネジャーとして多く関わるところで、ここのお話と、私のほかにケアマネジャーからも意見を伺ったりしているんですけども、その意見をお話しさせていただきたいなと思います。

やはりコロナになりまして、居宅介護支援事業所と包括の連携という部分なんですけれども、やはり、以前に比べて、包括の動きが見えなくなっているっていうのは、現状で思います。以前はやはり、膝を突き合わせた関係というか、そういったところまで密に出来ていたんですけども、互いにやっぱり連携が取れていないというのが実状です。

包括のメンバーの方も、職員さんが変わっていている、世代交代の時期なのかなというのもありますけれども、その辺も含めて、相談業務のところ、なかなか前に進まないなんというところ、正直あたりしております。

あともう一つ、地域ケア会議に関してなんですけれど、地域ケア会議が盛んに行われているという現状はとてもいいことだと思うんですけど、基本的にその地域ケア会議で何をやっていくべきかというところで、地域課題の発掘というところも、地域ケア会議には望まれるものだと思うんですけども、地域ケア会議をこなすことに着目して、地域（圏域）ではない居宅介護支援事業所へ依頼があったり、「とにかく出して下してください」というような感じで、件数をどれだけ多くとるかみたいな、何かそんな状況も見受けられるなっていうのが、話の中であがっておりますので、やはり地域のケアマネジャーを中心にその地域課題を発掘していく、自立支援に向けて考えていくということは非常に大事なことじゃないかなというふうに思っております。

最後に連絡協議会っていうところで勉強会など行われているんですけども、ここに関してもちょっと、温度差があるかなというふうに思っているのが正直なところです。積極的にケアマネジャーと研修会をしていこう包括もあれば、ケアマネジャーにお任せしますという感じでされているところも見受けられるなということで話があがっているところなんです。私だけの意見ではなくて、それぞれケアマネジャーと話す中でそういった意見が聞かれているということでした。以上、現状と報告という形でさせていただきました。以上です。

#### ○会長

はい、ありがとうございます。包括とケアマネ事業所との関係とかですね。地域ケア会議の話が出ました。何か事務局、それに対して、お話があればどうぞ。

#### ○事務局

地域包括ケアシステムを適正に運営というか、進めていくためにはやはり、おっしゃいましたように、ケアマネジャーと包括との連携というのは非常に重要であるというふうに認識しております。具体的な対応というのが、私のほうで、見えてないところではあります。先ほどおっしゃいました包括の温度差と言いますか、そこら辺があるということですので、そういった御意見もしっかり受け止めさせていただいて包括との協議の場で、協議をしていきたいなというふうに思います。ありがとうございます。

#### ○事務局

私のほうから地域ケア会議の件についてお答えさせていただきます。今のお話いただいたところなんですけれども、自立支援型の地域ケア会議が始まって3年経ちますが、やはり、いろいろお言葉もありまして8月に、全包括から話を伺いました。皆さんやはり負担感を感じているという答えがございまして、私どものほうも、お声を伺いましていろいろ検討するところがございますけれども、やはりその負担感があっても地域ケア会議については、包括の職員、ケアマネ、助言者の方にとっても、有意義な会議であるという認識はあるということをお願いしておりますので、その負担感を軽減するというのは来年

度に向けて今いろいろ検討を進めているところです。以上でございます。

○会長

世代交代を感じるって言わなかったですか。

○委員

そうですね。それはケアマネの中でも、居宅介護支援事業所の中でも世代交代しているなという感じです。

○会長

そうですね。毎回包括の方もケアマネの方も、それでなくても忙しいのに、コロナでさらに過重されて、その中で用心しながら活動されているんでね。もうこちらとしても、大変御苦労さまでしたとしかいいようがないんですね。でも、早く収束して、前のように生き生きと活動できる日を願っているとしか私としては言いようがないので、皆さんとともにその日を祈りましょう。

承認事項なんですけどこれでよろしいですか。ありがとうございました。御承認いただいたものといたします。

○委員

ひとつお尋ねよろしいですか。ケアマネジャーももちろんのこと、包括の職員のコロナに対する予防接種。御利用者の方、対象者の方と接することが、どうしてもやっぱ多くなってくる。制限していてもやっぱり多くなってくることもあると思うんですね。そういった場合、予防接種というのは包括の職員にはされているのでしょうか。

○事務局

接種を希望する職員については、2回接種が済んでいます。余剰ワクチンにて接種が済んでおります。

報告

<令和3年度 地域包括支援センターの重点的取組・地域包括支援センターの新型コロナウイルス感染症への対応状況について事務局から説明>

質疑応答

○委員

自立支援型のケア会議ですけれども、27圏域に我々歯科医師会としては各担当歯科医を配属していますので、コロナで会議なんかも少なくなっているという状況も重々承知しておりますが、ぜひ、お声掛けのほどよろしくお願ひします。何か、歯科医師会のほうで報

告をいただくんですけども、ケア会議に出席したっていう数が何か少ないもんですから、どれほど会議されているのかわからない状況なんですけれども、一応27圏域に1人ずつ配置しておりますので、オーラルフレイルに関しては助言できると思いますし、いろいろありますので。

#### ○事務局

各包括の会議に参加されている職種まで今手元のほうで把握はしてないんですが、ぜひ歯科医師会の皆様にも、御参加を思っておりますので、包括のほうに周知をしたいと思えます。引き続き御協力をお願いいたします。

#### ○委員

それから地域ケア会議に出ていて、口腔に関しては、情報が少ないような気もします。他に問診をとかされることも多いと思いますが、ぜひ口腔内の状況とかも、問診される時に把握していただければと思っております。要望です。はい。よろしく願いいたします。

#### ○会長

23ページですね。せっかくメディカルネットワークが出来たんだけど、どうもあんまり参加ケースが少ない。やっぱり自分の病気のことが知られてしまうと、そういう不安を持っていて、これはね、そういうことは絶対なくて、あなたが何回も検査を受けたり、何回も同じ質問を受けたりして大変だから、情報共有することによってあなたの負担を軽くしようとしているっていうことを、もっと宣伝したほうがいいと思う。自分のことを全部知られてしまうのではないかっていう、住民がそういう思っているんで、そこは住民によく説明をさしてくださいね。なるべく多くの人に参加してもらって。いろいろこれはいい仕組みだと思っているので、よろしく願います。これはもう事務局からは答えは必要ありません。このメディカルネットワークは利用者が少ないから、みんな同意して、登録されてくださいってお願いしたいです。先生からもう患者さんによく説明して、あなたのためだからって、便利だからと言ってください。

コロナ対策はもう皆さん報告を受けたその通りだと思いますので、これからも用心しながら、しかしサービスを停滞させることなく、やっていただきたいと思えます。ほかに何か、ございませんか。もし後で、気づいたことがあったら事務局に連絡してください。

次回は3月に開催されますので、できればそのときにはこのリモートじゃなくて、全員が揃って、会議ができることを願っています。

これで今日の会議を終了したいと思います。よろしいですか。

皆様に御協力いただきまして短時間に出来ましたので感謝申し上げます。

閉会